

## 中村政則名譽教授著作目録

### 著書・編著書

- 『日本地主制の構成と段階』（共著）東京大学出版会，1972年
- 『日本民衆の歴史 第6巻』（編著）三省堂，1974年
- 『大系日本国家史 近代I』（編著）東京大学出版会，1975年
- 『大系日本国家史 近代II』（編著）東京大学出版会，1976年
- 『労働者と農民』小学館版『日本の歴史』第29巻，1976年
- 『近代日本地主制史研究—資本主義と地主制—』東京大学出版会，1979年
- 『体系日本現代史 IV』（編著）日本評論社，1979年
- 『昭和の恐慌』小学館，1982年
- 『日本近代と民衆』校倉書房，1984年
- 『技術革新と女子労働』（編著）東京大学出版会，1985年編著
- 『昭和時代年表』（共著）岩波書店，1986年
- 『日本近代思想体系8 経済構想』（共著）岩波書店，1988年
- 『昭和恐慌』岩波書店，1989年
- 『年表・昭和史』（共著）岩波書店，1989年
- 『象徴天皇制への道—米国大使グルーとその周辺—』岩波書店，1989年
- 『戦後史と象徴天皇』岩波書店，1992年
- 『歴史のこわさと面白さ』筑摩書房，1992年
- 『日本の近代と資本主義』（編著）東京大学出版会，1992年
- “The Japanese Monarchy” M. E. Sharpe, New York, 1992年
- 『経済発展と民主主義』岩波書店，1993年
- 『占領と戦後改革』（編著）吉川弘文館，1994年

- 『昭和の恐慌』小学館ライブラリー, 1994年  
『戦時華中の物資動員と軍票』(編著)多賀出版, 1994年  
『占領改革の国際比較—日本・アジア・ヨーロッパ』(編著)三省堂, 1994年  
“Technology Change and Female Labour in Japan” (editd) United Nations University Press, 1994年  
『戦後日本 占領と戦後改革—第4巻 戦後民主主義』(編著)岩波書店, 1995年  
『歴史家が語る 戦後史と私』(共編)吉川弘文館, 1996年  
『現代史を学ぶ—戦後改革と現代日本』吉川弘文館, 1997年  
『近現代史をどう見るか—司馬史観を問う』岩波書店, 1997年  
『労働者と農民—近代日本をささえた人々—』小学館ライブラリー, 1998年  
『デモクラシーの崩壊と再生:学際的接近』(共編), 日本経済新聞社, 1998年  
『明治維新と戦後改革—近現代史論』校倉書房, 1999年10月

## 論 文

- 「地方産業の発展と下級金融機関」『土地制度史学』22号, 1964年1月  
「器械製糸の発展と殖産興業政策」『歴史学研究』290号, 1964年7月  
「製糸金融と製糸結社」山口和雄編著『日本産業金融史研究』(製糸金融編)東京大学出版会, 1966年, 第2章第2節1-3  
「龍上館笠原家の経営」同上, 第2章第3節3  
「製糸業の展開と地主制」『社会経済史学』32巻5・6号, 1967年  
「製糸と織物」『八王子市史』下巻, 第4章第4節1・2・4, 1967年  
「日本近代史研究者の当面する課題—日本近代史上の1900年代と1920年代—」『歴史学研究』323号, 1967年  
「日本帝国主義と人民—「9.5民衆暴動」(=「日比谷焼打ち事件」)をめぐって(江村栄一・宮地正人と共著), 『歴史学研究』327号, 1967年  
「明治前・中期における地方銀行の存立基盤—山梨県水田地帯の個別分析」『地方金融史研究』創刊号, 1968年  
「日本地主制史研究序説—戦前日本資本主義と寄生地主制との関連をめぐって—」『経済学研究』12, 1968年  
「日本近代化論批判をめぐる問題点」『日本史研究』100号, 1968年9月

- 「独占資本のイデオロギーと明治百年祭」『歴史学研究』341号, 1968年10月
- 「明治維新・地租改正・殖産興業・自由民権運動(第9章)産業革命・地主制(第10章)」井上光貞・永原慶二編『日本史研究入門』III, 東京大学出版会, 1969年
- 「地租改正研究の現段階」『経済研究』第20巻第2号, 1969年
- 「なぜ国家論をとりあげるのか」『歴史学研究』352号, 1969年9月
- 「地主制の確立」古島敏雄編『郷土史研究講座』第6巻, 朝倉書房, 1970年
- 「地主資金の運用形態—土地所有と資本蓄積—」東大社研調査報告書『倉敷紡績の資本蓄積と大原家の土地所有』, 1970年
- 「国家独占資本主義の成立と展開」永原慶二編『日本経済史』(第11章)有斐閣, 1970年
- 「戦時国家独占資本主義の確立」同上, (第12章)
- 「日本資本主義確立期の国家権力」『歴史学研究』1970年度大会別冊特集, 1970年
- 「日清「戦後経営」論」『一橋論叢』第64巻第5号, 1970年
- 「現代民主主義と歴史学」『講座日本史』第10巻, 東京大学出版会, 1971年
- 「浜口内閣の成立と金解禁政策」歴史学研究会編『太平洋戦争史』第1巻, 青木書店, 1971年11月
- 「大恐慌と産業合理化」同上
- 「金解禁政策の破綻と金輸出再禁止」同上
- 「京仁・京釜鉄道建設をめぐる官僚とブルジョアジーの動向」『山崎吉雄教授還暦記念論文集』, 1972年
- 「シンポジウム日本歴史」大石嘉一郎編『日本の産業革命』第18巻, 学生社, 1972年
- 「高橋財政と満州ブーム」歴史学研究会編『太平洋戦争史』第2巻, 1972年1月
- 「準戦時体制の矛盾」同上
- 「日本帝国主義成立史序論」『思想』, 1972年4月
- 「戦時国家独占資本主義」歴史学研究会編『太平洋戦争史』第4巻, 1972年8月
- 「服部之総と近代天皇制論」『歴史学研究』, 391号, 1972年12月
- 「日清・日露戦争と民衆」江村栄一・中村政則編『国権と民権の相克』, 三省堂, 1974年
- 「シンポジウム日本歴史」山崎隆三編『地主制』第18巻, 学生社, 1974年

- 「地主制」大石嘉一郎編『日本産業革命の研究』上, 東京大学出版会, 1975年
- 「日本ブルジョアジーの構成」同上, 下巻
- 「シンポジウム日本歴史」藤井松一編『日本の帝国主義』第19巻, 学生社, 1975年
- 「大恐慌と農村問題」岩波講座『日本歴史』近代5, 1976年
- 「解説『あゝ野麦峠』」角川書店, 1977年
- 「日本近代と大名華族」『月刊百科』平凡社, 1977年1月
- 「日本近代と民衆」『歴史評論』, 1977年10月
- 「“逆コース”と占領研究」『世界』1981年6月
- 「グルー文書覚書」『UP』東京大学出版会, 1981年7月—1982年3月
- 「地方史と全体史」『信濃』, 1982年12月
- 「解説『ピッソン・日本占領回想記』」三省堂, 1983年
- 「科学的歴史的認識が深まるとは」『歴史地理教育』1983年3月
- 「講座派理論と我々の時代」『歴史評論』1983年5月
- 「山田盛太郎先生に学ぶ」『図書』岩波書店, 1983年11月
- 「“羽仁史学の意義を考えるシンポジウム”に参加して」『歴史学研究』1984年7月
- 「日系米人革命家の軌跡」『歴史学研究月報』1984年11月
- 「サバイバルの時代—日本鉄鋼業の場合」『本』講談社, 1984年12月
- 「昭和の原点」『総括昭和史を問う』山陽新聞社, 1985年
- 「開港と日本資本主義の形成」藤原彰編『ロシアと日本』彩流社, 1985年
- 「天皇制国家と地方支配」歴史学研究会・日本史研究会編集『講座日本歴史』近代2, 東京大学出版会, 1985年
- 「戦前天皇制と戦後天皇制」歴史学研究会編『天皇制を考える』青木書店, 1985年
- 「明治維新と日本の近代化—イタリア・ロシア・日本の比較史—」『エグゼクティブ・アカデミー・シリーズ』1986年3月19日
- 「服部史学をうけつぐもの」『UP』東京大学出版会, 1986年8月・9月
- 「昭和農業恐慌と農民」『八潮市史研究』第6号, 1987年4月10日
- 「オーラル・ヒストリーと歴史学」『歴史学研究』, 1987年6月
- 「自己認識による地域史」『新潟県史研究』, 1988年3月
- 「序章・日本近代と新潟県」, 「地主王国」「米騒動」『新潟県史』近代2, 1988年

- 「アメリカにおける最近の地主制・小作争議研究の動向—リチャード・スメサーストの批判に答える」『歴史学研究』, 1988年4月
- 「賀川豊彦と農民運動」『雲の柱—賀川豊彦生誕100年記念特集号』1988年6月
- 「連続と非連続—グラー文書から見る」『書齋の窓』〈特集〉占領史研究の課題, 有斐閣, 1988年7月・8月
- 「明治前期における資本主義体制の構想」中村政則ほか編『経済構想』日本近代思想体系8, 岩波書店, 1988年
- 「畏るるは西洋の綿布にあり」朝日ジャーナル編『世界経済三国志』上, 1989年
- 「高度成長の基礎を築いた占領政策」同上, 下巻, 1989年
- 「日本占領と天皇制」『歴史学研究』, 600号, 1989年11月
- 「モチと天皇制」『日本学』名著刊行会, 1989年12月
- 「象徴」の由来とゆくえ『世界』, 1990年8月
- 「占領とはなんだったのか」『日本 同時代史』2巻, 青木書店, 1990年
- 「世界経済のなかの日本」『日本 同時代史』5巻, 青木書店, 1991年
- 「“日本株式会社”の源流と行方」NHK歴史誕生取材班『歴史誕生』第10巻, 1991年6月
- 「明治維新と日本の近代化」『戦後史大事典』三省堂, 1991年
- 「明治維新の世界史的位罫—イタリア・ロシア・日本の比較史」中村政則編『日本の近代と資本主義』東京大学出版会, 1992年
- 「金解禁と井上財政」エコノミスト創立70周年臨時増刊号『戦後日本経済史』, 1993年5月
- 「遠山史学と私の歴史学」『歴史評論』1993年7月
- 「明治百年祭」から「戦後50年」—委員長就任の弁—『歴史学研究月報』, 1993年10月
- 「“数量還元主義”と“裕福史観”の陥穽—スメサースト氏の反論に答える—」『歴史学研究』, 1994年1月
- 「経済発展と民主主義—日本経済の70年—」横浜国立大学経済学会『エコノミア』, 1994年3月
- 「“日本モデル”の再検討」『世界』, 1994年3月
- 「経済史家の見た東欧・ロシア」『UP』東京大学出版会, 1994年, 3, 5, 6, 7月号

- 「アジアの経済発展と民主主義」『茨城近代史研究』1994年3月
- 「アジアの視点と近現代史学習」歴史教育者協議会編『近現代史の授業づくり』青木書店, 1994年
- 「深い感動は抑制の中にこそある」歴史家の本棚4『日本古書通信』, 1994年11月
- 「国家と諸階級」大石嘉一郎編『日本帝国主義史3』東京大学出版会, 1994年
- 「1950～60年代の日本—高度経済成長」『岩波講座 日本通史』第20巻, 岩波書店, 1995年3月
- 「地主制・天皇制論」(安良城盛昭『日本封建社会成立史論』岩波書店, 所収) 1995年5月
- 「明治維新と戦後改革」中村政則他編『戦後民主主義』岩波書店, 1995年11月
- 「大恐慌と脱出への模索」歴史学研究会編『講座 世界史』第6巻, 東京大学出版会, 1995年11月
- 「序論 戦後五〇年をどう見るか」歴史学研究会編集, 青木書店, 1995年11月
- 「愛鷹村満州農業移民」(陳野守正と共著)『沼津市史研究』第4号, 1996年3月
- 「戦後五〇年と日本現代史研究—戦時体制・戦後改革・高度成長」『信濃』1996年12月
- 「戦後五〇年と日本社会の変貌」『八潮市史研究』1997年3月
- 「イエス」と「ノー」『経済往来』, 1997年3月号
- 「歴史教科書問題とナショナリズム」中村政則他『歴史と真実』筑摩書房, 1997年11月
- 「司馬文学と歴史学—『峠』を中心に」上『神奈川大学評論』, 1997年11月
- 「司馬文学と歴史学—『峠』を中心に」下『神奈川大学評論』, 1998年3月
- 「大正デモクラシーから『大転換』へ」南亮進・中村政則・西沢保編『デモクラシーの崩壊と再生:学際的接近』日本経済新聞社, 1998年2月
- 「近現代の歴史から何を学ぶか」『国民文化』459号, 1998年3月
- 「憲法第九条と天皇制」『軍縮』, 1998年6月号
- 「占領下の尊厳—戦後日本と白洲次郎」『太陽』, 1998年7月号
- 「昭和恐慌と平成不況」『エコノミスト』, 1998年9月8日号
- 「歴史学と歴史叙述」『歴史学研究』増刊号, 1998年10月
- 「高橋是清」『エコノミスト』, 1998年12月21日号

「占領下の尊厳―戦後日本と白洲次郎」『白洲次郎』、コロナ・ブックス、平凡社、  
1999年8月

翻 訳

トーマス・ビッソン著『日本占領回想記』三省堂（三浦陽一と共訳）、1983年

そ の 他

自治体史（新潟県史・長野県史・八王子市史・国立市史・中野区史・沼津市史な  
ど）編纂・執筆